

## 審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	甲州市健康づくり推進協議会 食育推進専門部会 令和5年度 第2回
開催日時	令和5年8月8日(火) 午後7時00分
開催場所	塩山保健福祉センター 1階 多目的ホール
議 題	(1) 第2次甲州市健康増進計画・第3次甲州市食育推進計画の推進及び中間評価 ①市民アンケート調査結果報告及び指標の評価について ②部会員による市民ワーキング(グループワーク) (2) 今後のスケジュールについて (3) その他
出席委員	橋爪孝裕部会員、飯島かつ子部会員、菊島直紀部会員、澤田正志部会員、塩澤智子部会員、齊藤ふみ香部会員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	1 人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	※ 事務局の課・担当名、連絡先、出席人数等 健康増進課 健康づくり担当 33-7812 出席人数3人
その他	※ 上記以外で審議会等が必要と認める事項

# 令和5年度第2回 甲州市健康づくり推進協議会 食育推進専門部会 議事録

実施日時 令和5年8月8日(火) 開始 19:00 終了 20:30

司会進行:健康増進課 健康づくり担当リーダー 山本

1. 開会	<ul style="list-style-type: none"><li>・司会による開会のことば 甲州市商工会事務局長 大久保親雄部会員(欠席) フルーツ山梨農業組合営農指導部生活指導課係 石井梨紗子部会員(欠席) 甲州市民生児童委員連絡協議会 辻 洋子部会員(欠席) 甲州市男女共同参画推進委員会 網野澄子部会員(欠席) 甲州市小中学校校長会 廣瀬 敦子(欠席)</li><li>・本日健康づくり推進協議会瀧澤会長が参加</li></ul>
2. 部会長あいさつ	飯島部会長 先日健康づくり推進協議会にて、重点目標1と3について、中間評価の概要説明後市民ワーキングを実施しました。本日は、重点目標2おいしく食べるについて、市民ワーキングをしていきます。有意義な時間にしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
3. 議事	

## ○傍聴について

司会:甲州市審議会等の会議の公開に関する基準に基づきまして、市民公開することとなっております。傍聴も可能となっております、本日、傍聴希望者がいらっしゃいます。

議長:事務局から報告によりますと1名の方が本審議会の傍聴希望でいらっしゃっています。許可したいと思いますよろしいでしょうか。

—異議なしで傍聴人入場—

## 議事 議長:飯島部会長

### (1) 第2次甲州市健康増進計画・第3次甲州市食育推進計画の中間評価について

- ① 中間評価の概要説明 ▶ 資料1、2、3
- ② 第1回市民ワーキング(グループワーク)
- ③ ワーキング結果の共有

① 中間評価の概要説明

健康増進課 雨宮による説明

**資料1** **資料2** **資料3** を一括で説明

② 第1回市民ワーキング(グループワーク)

2つのグループに分かれて重点目標2(おいしく食べる)についてグループワークを行う。(20分×2回)  
健康増進課が進行発表、書記を担当した。

③ ワーキング結果の共有

グループワークの結果を発表

③ワーキングの結果共有:

【1グループ】 発表者;健康増進課・小池

**小児期**

- ・1グループの先生方は日々子ども達に接しているためリアルな意見をいただけた。
- ・今はスポ少から帰ってきて宿題をし、ご飯を食べる子が多く、夜の時間が忙しい。その後にテレビやゲーム等で夜寝る時間が遅い。このことが朝食欠食の理由なのではないか。
- ・日々子ども達と接する中で、中学生は寝る時間が23時~1時の子もいる。夕食の時間も遅く、寝る時間が遅いため必然的に朝は学校に行くギリギリまで寝てしまうのではないか。
- ・または、夜遅くに夜食をするため、朝食欲がないのも朝食欠食の原因ではないか。
- ・朝ごはんというアプローチは引き続き今後も行っていく。今後5年間でできることとすると、『夜早く寝る』アプローチをしていく。
- ・小児期のもう一つの指標である「食事を一人で食べるこどもの割合」で“3歳”と“朝食”で悪化していることについては、以前よりお父さんお母さんの勤務時間の長さが関係しているのではないか。勤務時間が長くなり、子どももその生活にあわせなくてはならないため、一人で食べるこどもの割合増やしていると思う。
- ・今後5年間、ここに対してアプローチするのは難しいのではないか。

**青年期**

- ・青年期でも朝食欠食がすごく大きな問題になっている。
- ・青年期はアプローチするのに難しい期である。
- ・高校生が朝食を食べない理由には親の世代も関係しているのではないか。
- ・朝食欠食に関しては、小児期、青年期と合わせて、同じ家族の壮年期にも一緒に朝食の必要性をアピールしていくことが大切。
- ・睡眠時間が第一優先になり、体の疲れを癒すには睡眠が一番という意識が根付いているのではないか。そこで、睡眠より“朝食を食べることで体の回復をする”というアプローチも重要なのではないか。
- ・男性の朝食欠食をなくすためには、朝食の前になにか活動をするのも良いと思う。ウォーキングや仕事など、早起きして何か一つ活動をするとおなかがすくと思う。

【2グループ】 発表者；健康増進課・雨宮

#### 壮年期

・壮年期の指標の一つである「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合」に変化がなかったという結果については、悪化していないことが良かったのではないかと。

本計画前半期の4年間はコロナ禍であり、経済的にも問題があった。また個人の生活スタイルが決まってきたため、働いている人は忙しく食事の時間もなかなかとれない。

このようなこともある中で、悪化していないことが良かったと思う。

・前半期の取り組みで良かったことは、食生活改善推進員会主催の「食育映画会」。本計画にある市民一人一人ができることを推進した取り組みであった。

・食育映画会の副題であった「めんどくさいは幸せへの近道」の「めんどくさい」ことについて今後5年間前向きにとらえられるPRを考えていきたい

・職場の方で健康のために主食(炭水化物)を抜いている人が多い様子がみられる

→たくさんの情報がある世の中で、今後は誤解を解き正しい情報を伝えていくことに取り組む

・団体(食改)としては、今後も引き続き、食育出前やCATV、広報などいろいろなメディアを使いながら情報発信していく

・壮年期ではなく、全世代が対象となると思うが、特に小児期から、食事が普通にとれることのありがたみ、感謝の気持ちという部分も今後5年間でPRしていきたい。

#### 高齢期

・高齢期の食事を一人でする人の割合については、様々な問題・課題がありなかなか推進することは難しいのではないかと。(高齢化や独居の増加等)

・家庭の中でも一人一人の生活リズムが違うことや、食事の為ではなく、生活をどうしていくのかの問題になってくると思う。食事だけの問題ではなく、その他すべて含めて家族というくくりで生活のバランスがとれているかが問題。

・低栄養傾向が疑われる人の割合のところで取り組めることでは、食改として今後も老人クラブやいきいきサロンでの食育出前や、“簡単レシピ”“火を使わないレシピ”など紹介していきたい。

・みんなで料理をつくる場所が低栄養防止につながるの、料理教室を再開していきたい

・市民一人一人ができることではないが、高齢期の方は食材を揃える手段がない。そのため買い物難民を救う手立てとして行政の方でも考えていただきたいことが話題となった。

### (1) 第2次甲州市健康増進計画・第3次甲州市食育推進計画の中間評価について

#### ④まとめ

#### (2) その他

#### ④ 健康増進課山本よりグループワークの結果のまとめ

皆様の御意見を聞かせていただきましてありがとうございました。それぞれの期で課題やアプローチの仕方が違うが、子どもだと親世代へのアプローチ、高齢期の方が親だと、その子ども世代の壮年期へのアプローチもよいのではないかと、大変参考になる意見をいただきました。これからの取り組みとしては、簡単朝食メニューの提供・周知、男性料理教室等を広げていけるといいのかなと感じました。また、高齢者の食材調達の課題等がありましたが、庁内の関係課とのワーキングで共有させていただき、今後何が一緒に考えていければと思います。ここ4年間はコロナ禍で取り組みが難しかった面がありますが、今やっている活動を地道に重ねながら市民の方々に内容が浸透していき、良い方向に向かっていくといいなと思いました。

今日皆様方からいただいたご意見「市民一人一人ができること」と合わせて、「市民を支える取り組み」の両方で食育を推進していくことが大切だと改めましたので、私たちも力を合わせて頑張っていきたいと思います。今日は貴重なご意見をたくさんありがとうございました。

## (2) その他

・食育関連シートについて(事務局:雨宮)

本日食育関連シートの内容については、共有しませんが、次回会議の際にまとめたものを配布いたします。  
ご記入いただいた食育関連シートを担当職員へ提出してください

4. その他	・次回、第3回健康づくり推進協議会食育推進専門部会 令和5年10月31日(火)19時～塩山保健福祉センター ・8月中に庁内ワーキングを開催。 ・以上を踏まえて中間評価素案を作成し、10月31日に意見をいただくワーキングを開催。
5. 閉会のことば	橋爪副部長による閉会の言葉